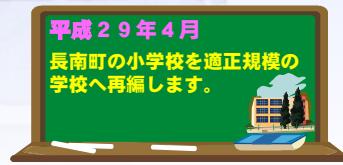


第4回小中一貫校設立委員会

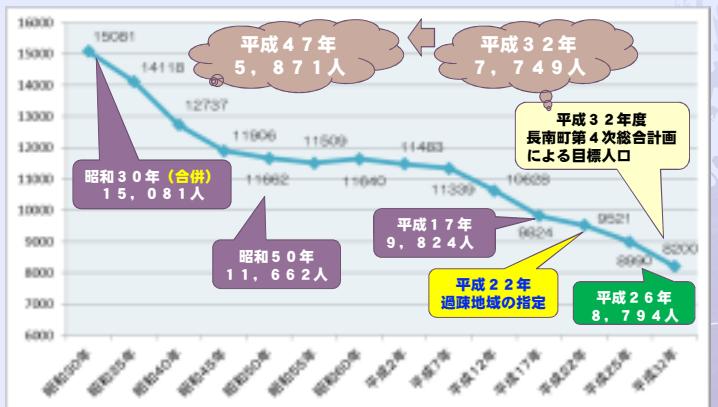


小学校統合に伴う尚武館の解体について



平成27年1月27日(火)

長南町の人口の推移



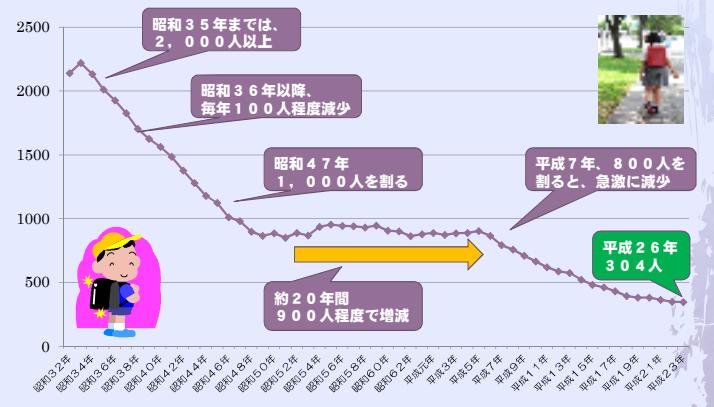
適正規模・適正配置等の手引（文科省）



新基準策定

昭和31年
改訂以来
約60年ぶり

長南町の児童数の推移



学校現場の現状

10名以下の学級
8クラス



学習集団が固定化し、子供同士が切磋琢磨できない。
価値観が固定化し、多様な見方や考え方を学ぶ機会が少ない。
球技や合奏・合唱など一定規模の集団を前提とした活動が困難となる。
運動会・修学旅行等、集団活動や行事の教育効果が下がる。

29年度の東小新入生は3人（男2、女1）
30年度以降、複数の学校で複式学級が出現
31年度の長南小の新入生は0人、豊栄小は3人

連携教育で対応してきたが



体育科・音楽科・特別活動を中心に、年間30回程度の合同授業




合同実施

芸術鑑賞会・水泳記録会・修学旅行
ふれあいキャンプ・マラソン記録会



- ・移動を伴うため、前後の授業時間の確保や安全管理への課題
- ・煩雑な授業の進度調整
→連携活動も限界・これ以上の連携はマイナス面も

長南中学校に小学校用校舎を増築し、平成29年4月に小中一貫校を開校。



イメージ



長南中学校

小中学校として
望ましい教育環境

学校としての
管理・運営

児童・生徒数
の変容

町の財政状況と
維持・管理

